

# 市民の生活状況に関する基礎調査 報告書

令和5年3月

鎌倉市

## 目次

I. 調査概要 .....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計及び調査内容.....	1
(1) 調査設計 .....	1
(2) 主な調査内容.....	1
3. 報告書を見る際の注意事項 .....	1
II. 調査結果.....	2
1. 回答者の基本属性.....	2
(1) 調査に回答した人 .....	2
(2) 性別・年齢 .....	2
(3) 居住地域.....	3
(4) 同居している方 .....	3
(5) 同居している人数 .....	4
2. 回答者自身や家族について .....	4
(1) 生計を立てている人.....	4
(2) 生活水準 .....	5
(3) 病気やけがで通院や入院の経験.....	5
(4) 通学状況 .....	6
(5) 最終学歴 .....	6
(6) 就労状況 .....	7
(7) 就労経験 .....	7
(8) 現在の進路希望 .....	8
(9) 就職活動状況.....	8
3. 回答者の日常生活について .....	9
(1) 自宅での過ごし方 .....	9
(2) 日常生活での不安 .....	10
(3) 普段の相談相手 .....	11
(4) 近所付き合いの状況.....	12
(5) 外出頻度 .....	12
4. 外出頻度が少ない人※の状況.....	13
(1) 外出頻度が少ない状態の経過期間.....	13

(2) 初めて外出頻度が少ない状態になった年齢 .....	14
(3) 最近6か月間の家族との会話の状況 .....	14
(4) 最近6か月間の家族以外との会話の状況 .....	15
(5) 外出頻度が少ない状態になったきっかけ .....	16
(6) 不登校のきっかけ .....	17
(7) 外出頻度が少ない状態についての相談希望 .....	17
(8) 相談機関に求める姿勢等 .....	18
(9) 相談したくない理由 .....	19
(10) 外出頻度が少ない状態についての相談状況 .....	20
(12) 自分にとって必要なもの .....	21
5. 外出頻度が一定程度ある人※の状況 .....	22
(1) あてはまる状態 .....	22
(2) 継続期間 .....	23
(3) 初めて外出頻度が少ない状態になった年齢 .....	23
(4) 外出頻度が少ない状態になったきっかけ .....	24
(5) 不登校のきっかけ .....	25
(6) 外出頻度が少ない状態から抜け出すきっかけや役立ったこと .....	26
III. ひきこもりの出現率の試算 .....	27
1. ひきこもりの定義 .....	27
2. ひきこもりの出現率の試算 .....	28
IV. 使用した調査票 .....	30

# 1. 調査概要

## 1. 調査の目的

鎌倉市民の日常生活の状況について把握し、今後の市政運営の参考とすることを目的として実施する。

## 2. 調査の設計及び調査内容

### (1) 調査設計

- 調査対象：満 15 歳から 64 歳の鎌倉市民
- 対象者の抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出
- 対象者数：2000 人
- 調査方法：郵送法によるアンケート調査
- 調査時期：2023 年 1 月 10 日～2023 年 1 月 31 日

### (2) 主な調査内容

- 自宅にいるときによくしていること
- 日常生活で不安に思っていること
- 近所付き合いの状況
- ふだんの外出頻度
- 会話の状況 等

## 3. 報告書を見る際の注意事項

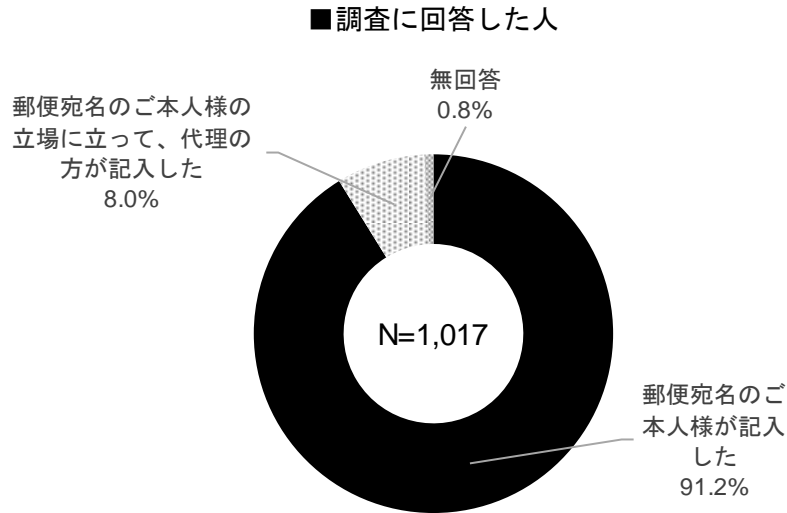
- ・ 図表中の「N」は、設問への回答者数を示している。
- ・ 回答は百分率で算出している。小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を 100%としている。
- ・ 複数選択ができる設問では、設問当該者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が 100%を超えることがある。
- ・ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- ・ 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## II. 調査結果

### 1. 回答者の基本属性

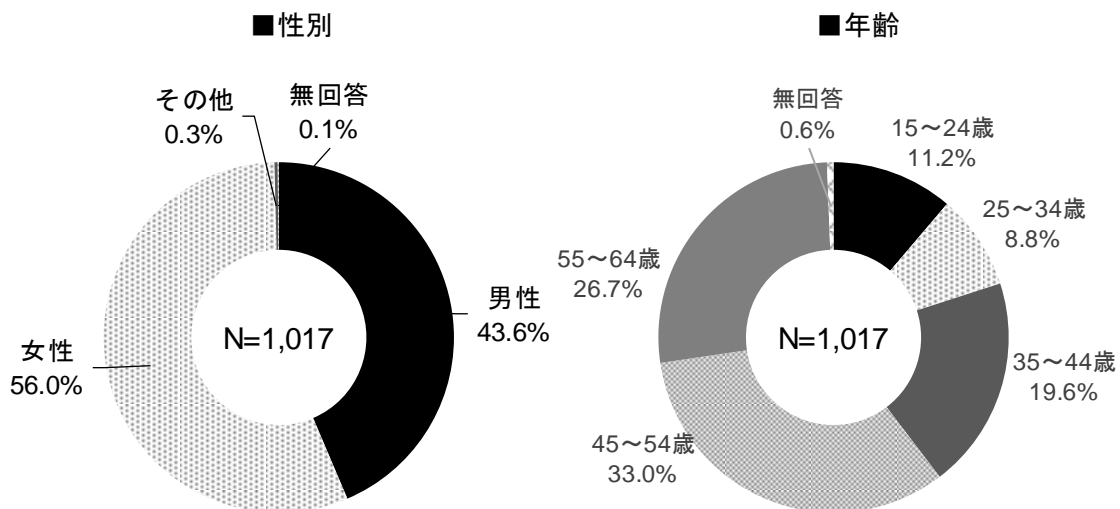
#### (1) 調査に回答した人

調査に回答した人は「郵便宛名のご本人様が記入した」が最も多く 91.2%となっている。



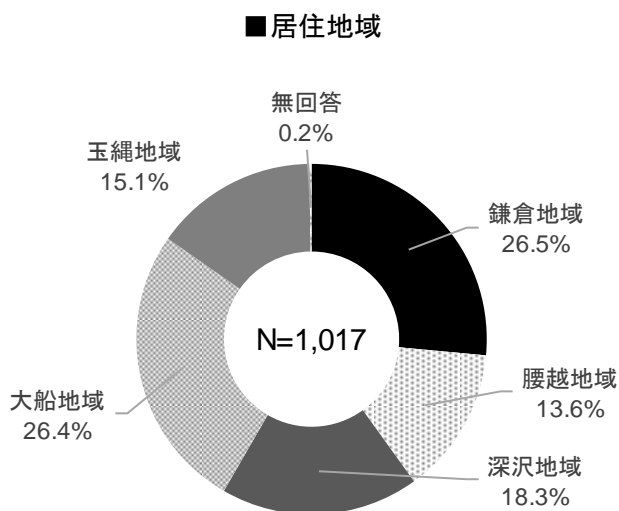
#### (2) 性別・年齢

回答者の性別は、「男性」43.6%、「女性」56.0%となっている。年齢は「45～54歳」が最も多く 33.0%、次いで「55～64歳」26.7%、「35～44歳」19.6%となっている。



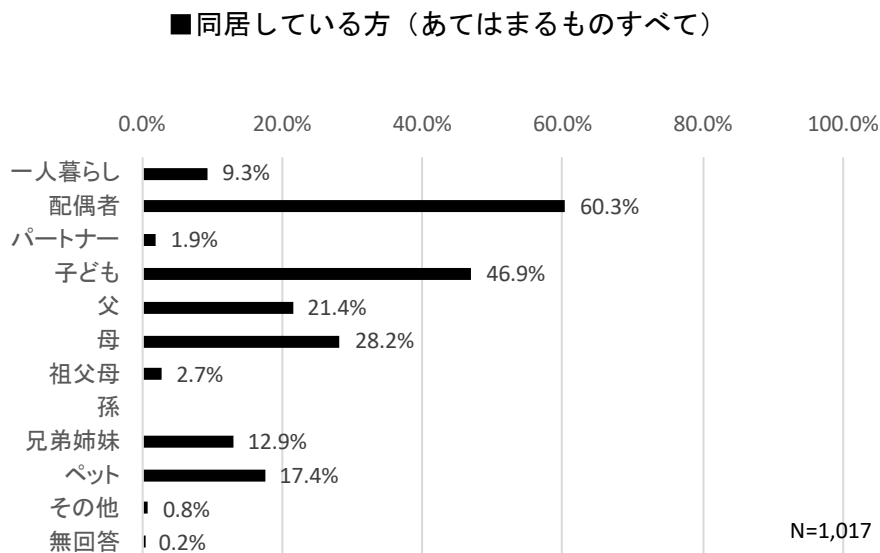
### (3) 居住地域

居住地域は「鎌倉地域」が最も多く 26.5%、次いで「大船地域」26.4%、「深沢地域」18.3%となっている。



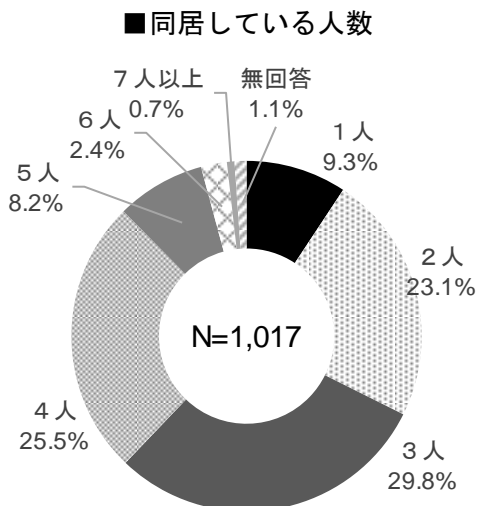
### (4) 同居している方

同居している方は「配偶者」が最も多く 60.3%、次いで「子ども」46.9%、「母」28.2%となっている。



## (5) 同居している人数

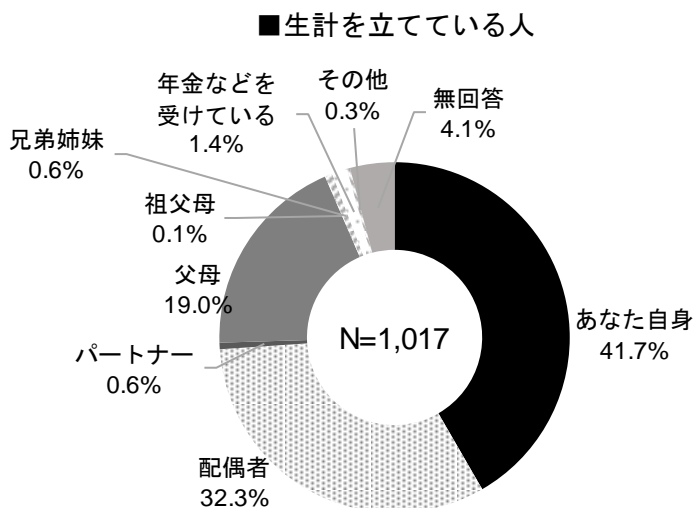
同居している人数は「3人」が最も多く 29.8%、次いで「4人」25.5%、「2人」23.1%となっている。



## 2. 回答者自身や家族について

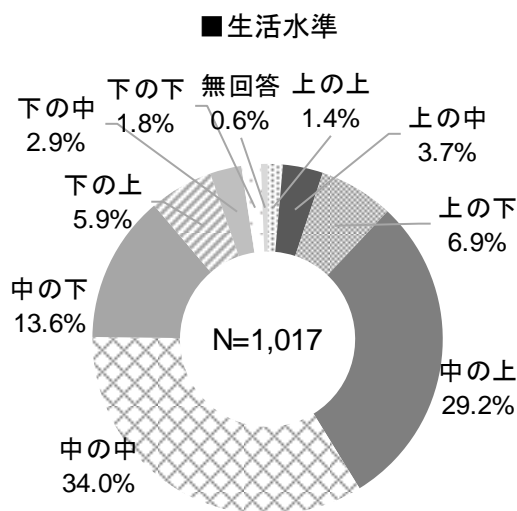
### (1) 生計を立てている人

生計を立てている人は「あなた（回答者）自身」が最も多く 41.7%、次いで「配偶者」32.3%、「父母」19.0%となっている。



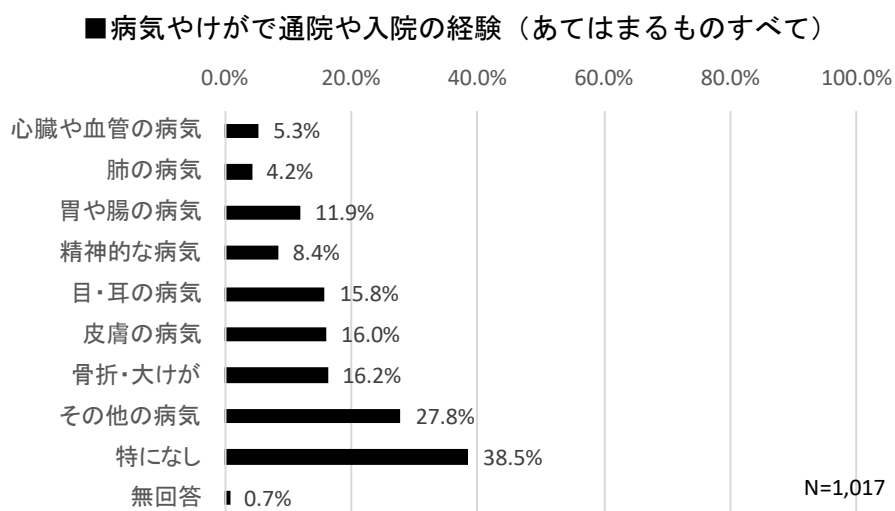
(2) 生活水準

生活水準は「中の中」が最も多く 34.0%、次いで「中の上」29.2%、「中の下」13.6%となっている。



(3) 病気やけがで通院や入院の経験

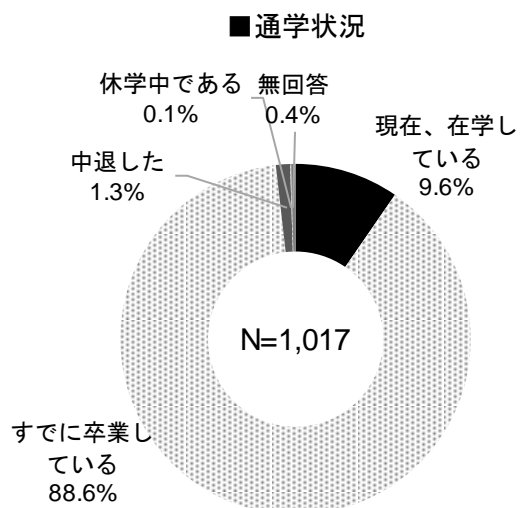
病気やけがで通院や入院の経験は「特になし」が最も多く 38.5%、次いで「その他の病気」27.8%、「骨折・大けが」16.2%となっている。





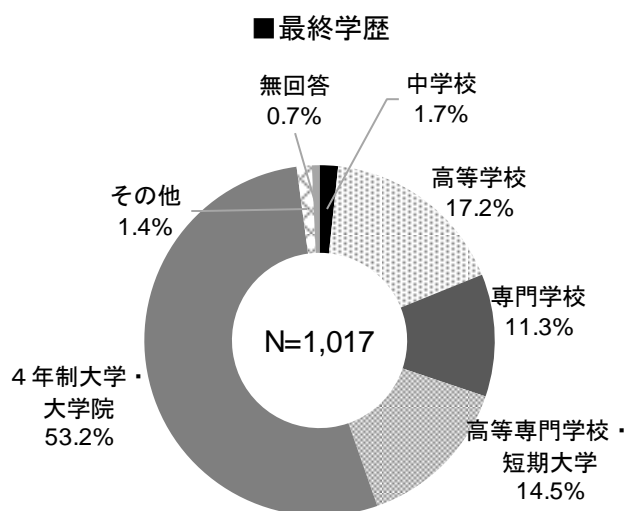
#### (4) 通学状況

通学の状況は「すでに卒業している」が最も多く 88.6%、次いで「現在、在学している」9.6%、「中退した」1.3%となっている。



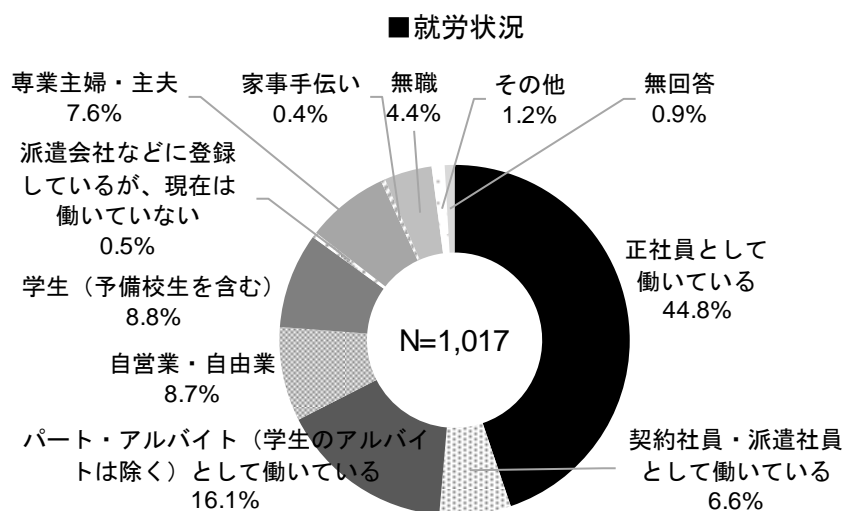
#### (5) 最終学歴

最終学歴は「4年制大学・大学院」が最も多く 53.3%、次いで「高等学校」17.2%、「高等専門学校・短期大学」14.5%となっている。



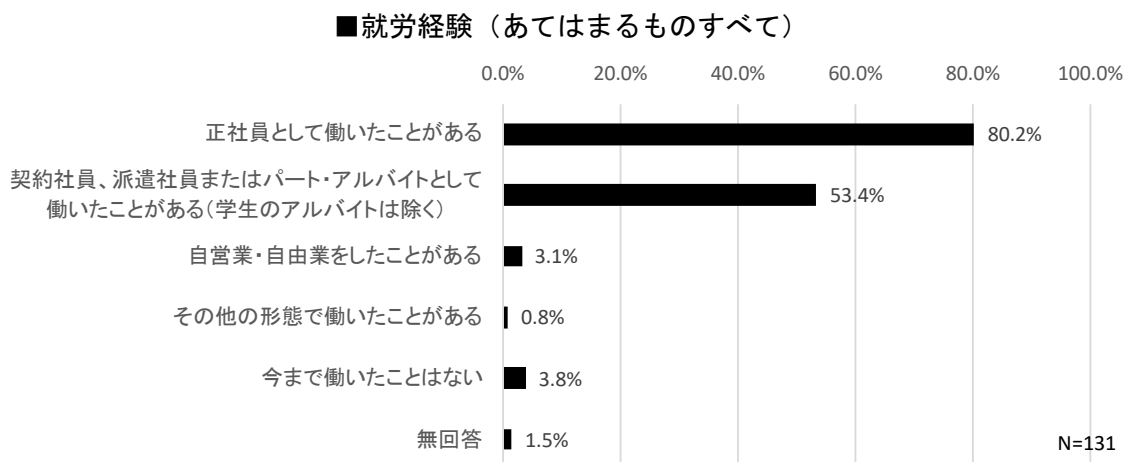
## (6) 就労状況

就労状況は「正社員として働いている」が最も多く 44.8%、次いで「パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）として働いている」16.1%、「学生（予備校生を含む）」8.8%となっている。



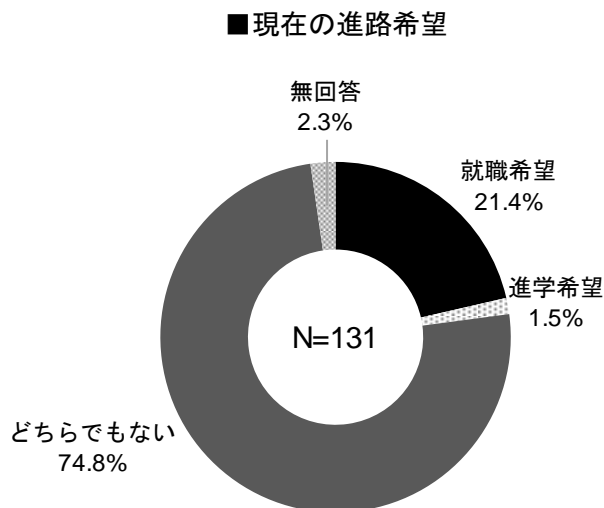
## (7) 就労経験

就労状況で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「専業主婦・主夫」「家事手伝い」「無職」と回答した人に対し、就労経験を尋ねたところ、「正社員として働いたことがある」が最も多く 80.2%、次いで「パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）として働いている」53.4%、「今まで働いたことはない」3.8%となっている。



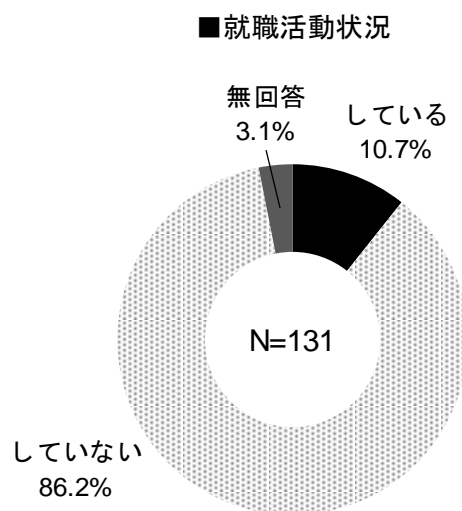
### (8) 現在の進路希望

就労状況で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「専業主婦・主夫」「家事手伝い」「無職」と回答した人に対し、現在の進路希望を尋ねたところ、「どちらでもない」が最も多く74.8%、次いで「就職希望」21.4%、「進学希望」1.5%となっている。



### (9) 就職活動状況

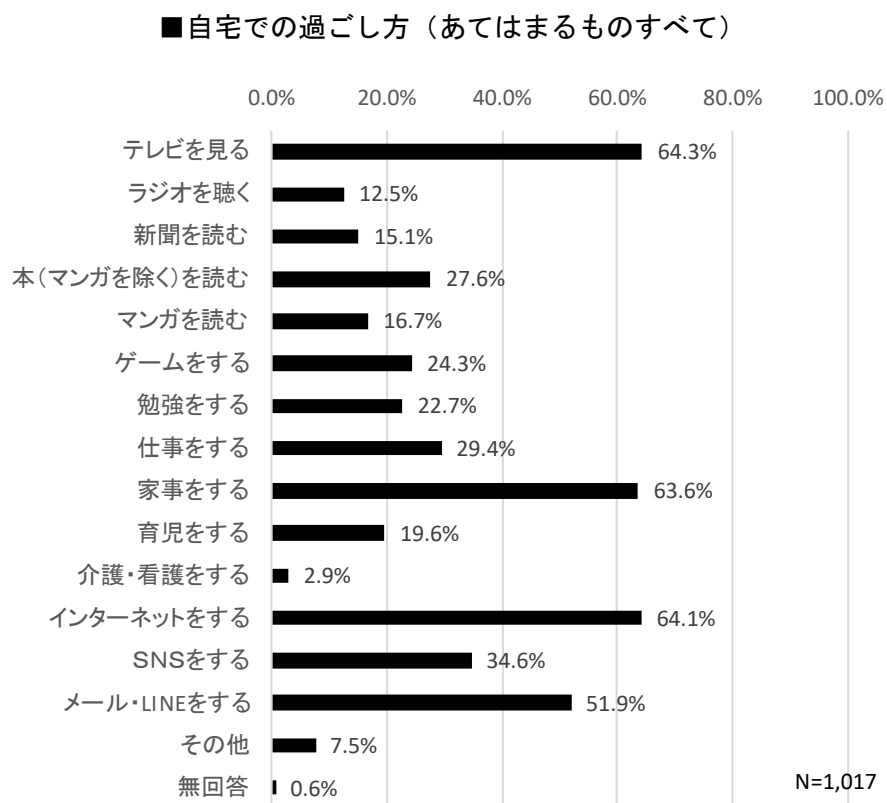
就労状況で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「専業主婦・主夫」「家事手伝い」「無職」と回答した人に対し、就職活動状況を尋ねたところ、「していない」が最も多く86.3%、次いで「している」10.7%となっている。



### 3. 回答者の日常生活について

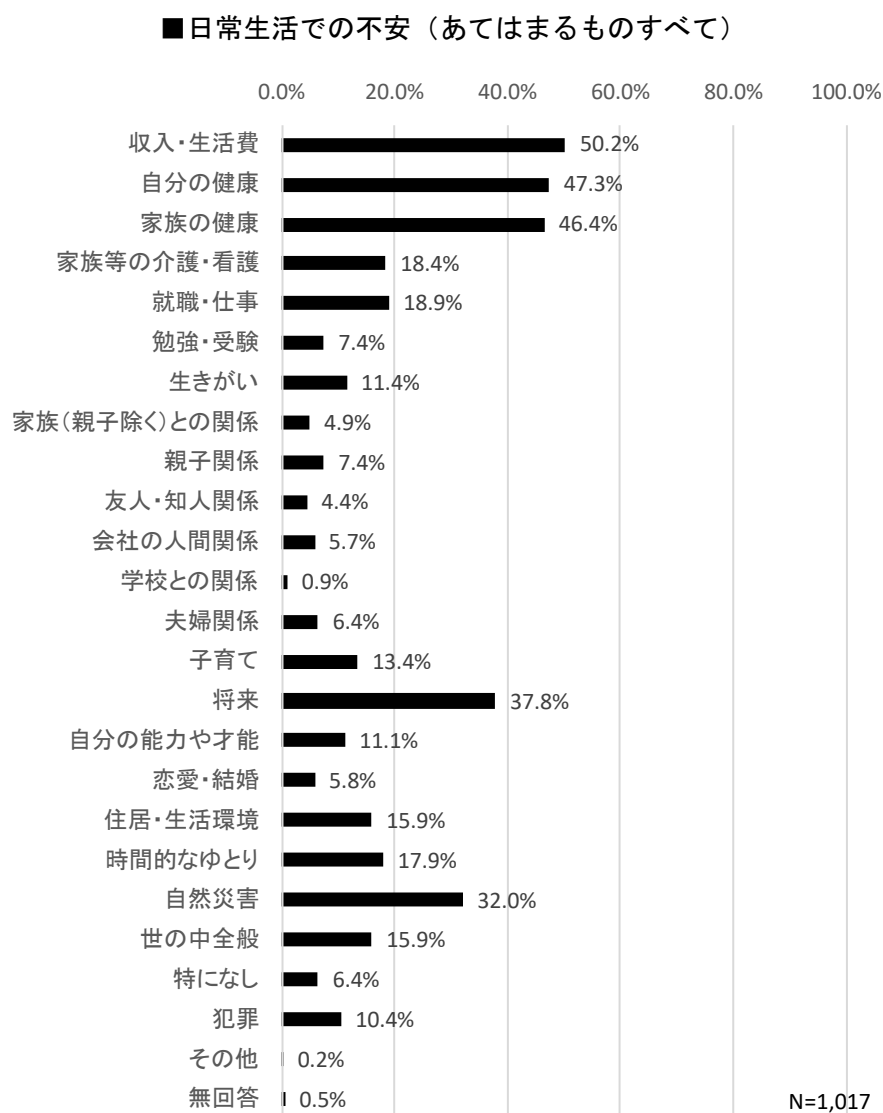
#### (1) 自宅での過ごし方

自宅にいるときによくしていることとしては「テレビを見る」64.3%、「インターネットをする」64.1%、「家事をする」63.6%が多くなっている。



## (2) 日常生活での不安

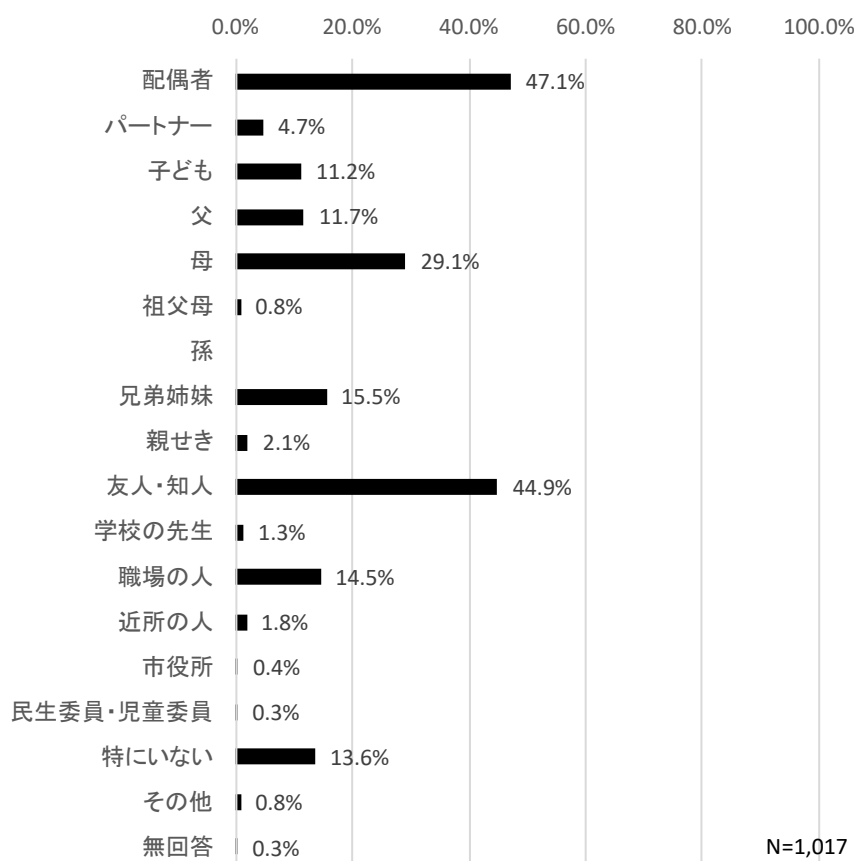
日常生活で不安に思っていることは「収入・生活費」が最も多く 50.2%、次いで「自分の健康」47.3%、「家族の健康」46.4%となっている。



### (3) 普段の相談相手

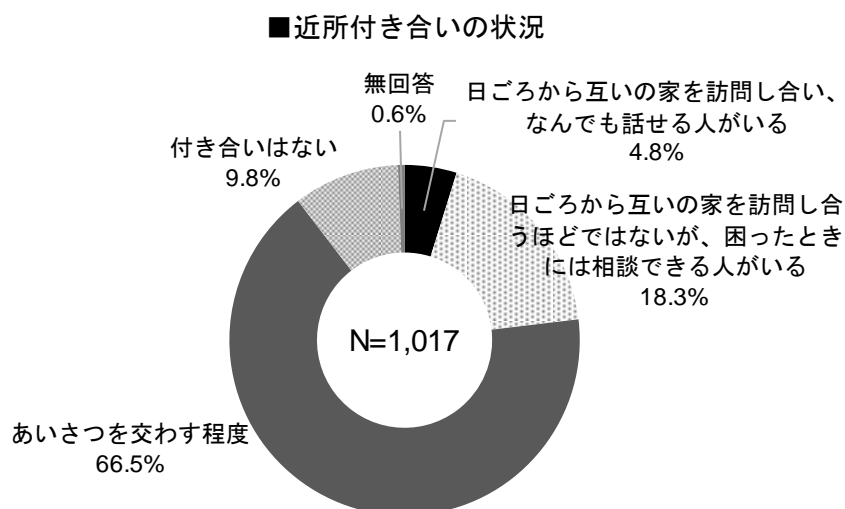
日常の心配ごとや悩みごとを相談する相手は「配偶者」が最も多く 47.1%、次いで「友人・知人」44.9%、「母」29.1%となっている。

■ 普段の相談相手（あてはまるものすべて）



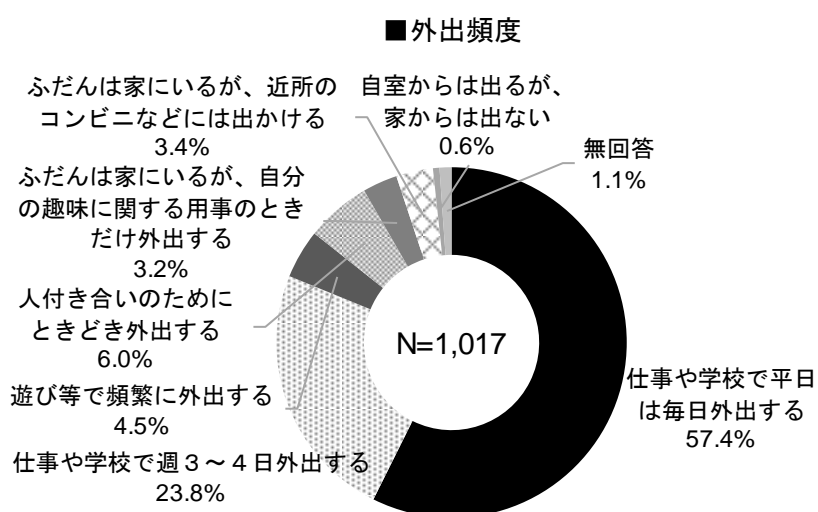
#### (4) 近所付き合いの状況

近所付き合いの状況は「あいさつを交わす程度」が最も多く 66.5%、次いで「日ごろから互いの家を訪問し合うほどではないが、困ったときには相談できる人がいる」18.3%、「付き合いはない」9.8%となっている。



#### (5) 外出頻度

ふだんの外出状況は「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も多く 57.3%、次いで「仕事や学校で週3～4日外出する」23.8%、「人付き合いのためにときどき外出する」6.0%となっている。

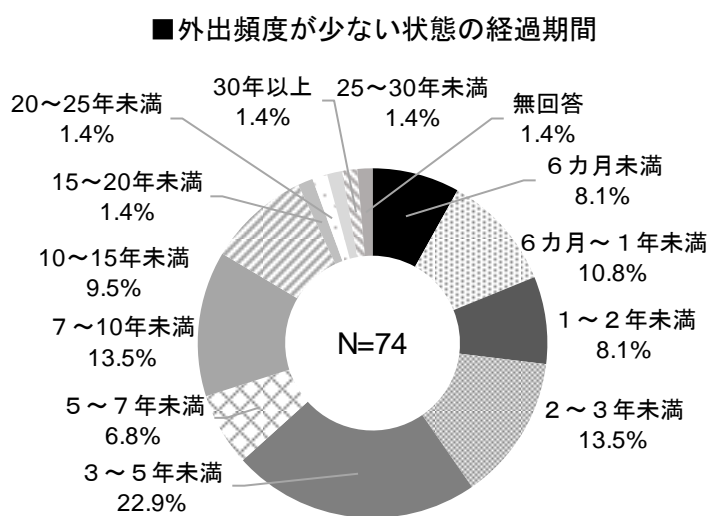


#### 4. 外出頻度が少ない人※の状況

※普段の外出頻度で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した人

##### (1) 外出頻度が少ない状態の経過期間

外出頻度が少ない状態になってからどの程度経過しているかを尋ねたところ、「3～5年未満」が最も多く23.0%、次いで「2～3年未満」「7～10年未満」が共に13.5%となっている。

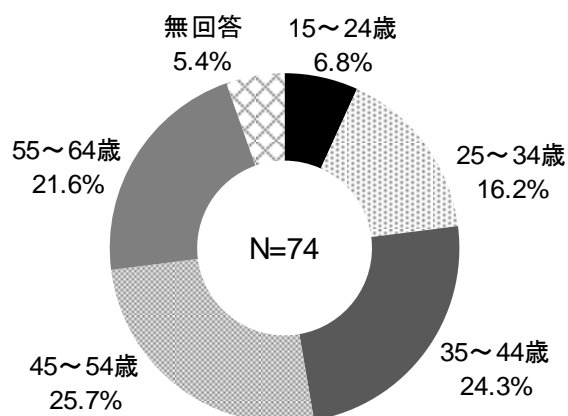




### (2) 初めて外出頻度が少ない状態になった年齢

初めて外出頻度が少ない状態になった年齢を尋ねたところ、「45～54 歳」が最も多く 25.7%、次いで「35～44 歳」24.3%、「55～64 歳」21.6%となっている。

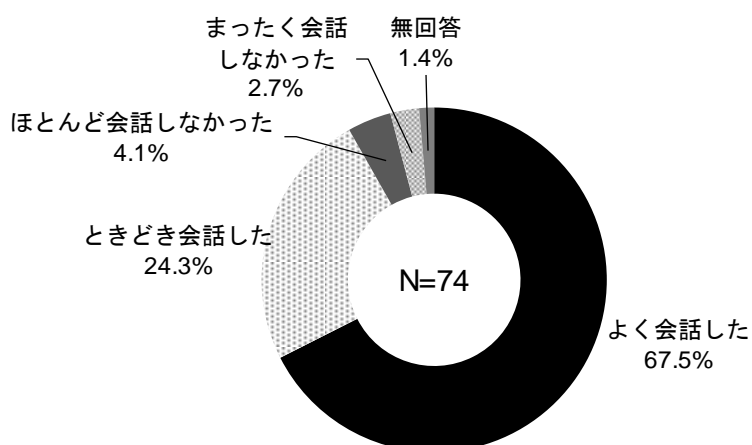
■初めて外出頻度が少ない状態になった年齢



### (3) 最近6か月間の家族との会話の状況

最近6か月の家族との会話の状況について尋ねたところ、「よく会話した」が最も多く 67.6%、次いで「ときどき会話した」24.3%、「ほとんど会話しなかった」4.1%となっている。

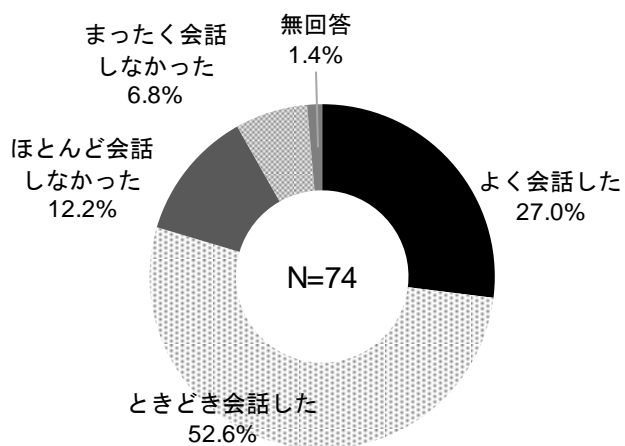
■最近6か月間の家族との会話の状況



#### (4) 最近6か月間の家族以外との会話の状況

最近6か月の家族以外との会話の状況について尋ねたところ、「ときどき会話した」が最も多く52.7%、次いで「よく会話した」27.0%、「ほとんど会話しなかった」12.2%となっている。

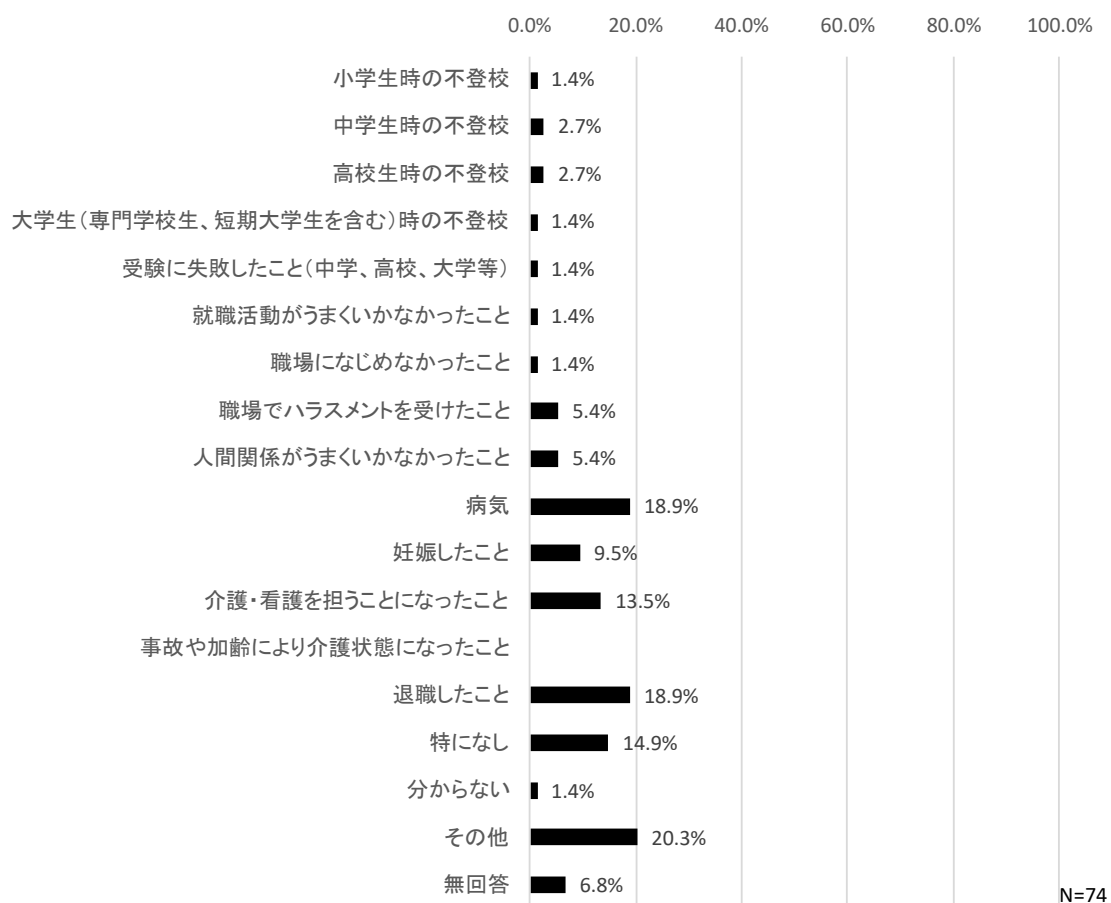
■最近6か月間の家族以外との会話の状況



### (5) 外出頻度が少ない状態になったきっかけ

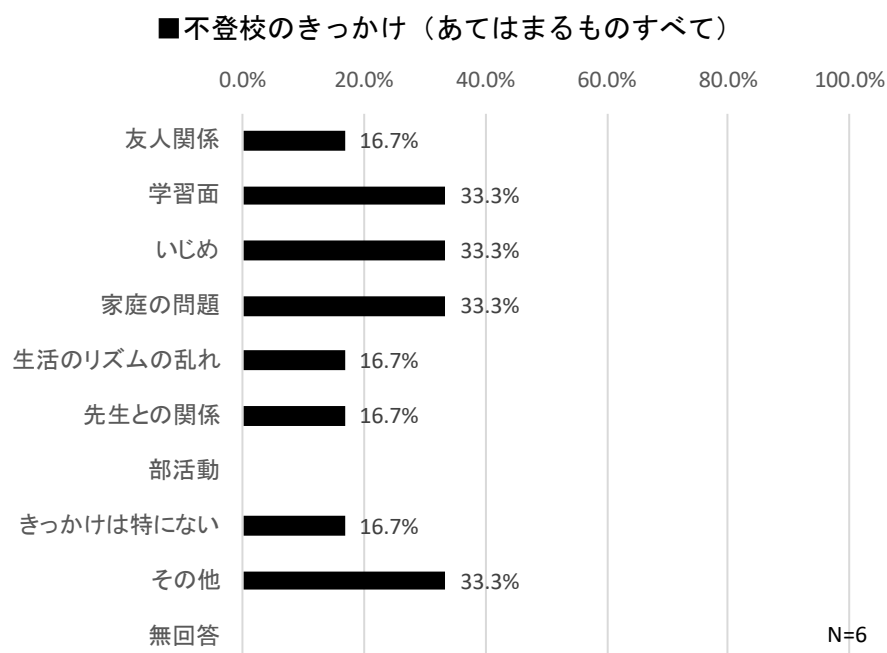
外出頻度が少ない状態になったきっかけについて尋ねたところ、「その他」が最も多く20.3%、次いで「病気」「退職したこと」が共に18.9%となっている。

■ 外出頻度が少ない状態になったきっかけ（あてはまるものすべて）



## (6) 不登校のきっかけ

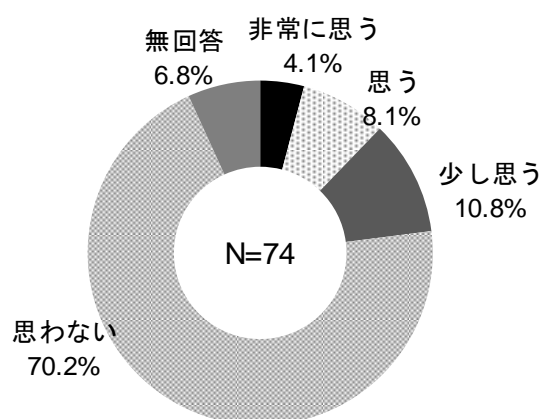
外出頻度が少ない状態になったきっかけで「小学生時の不登校」「中学生時の不登校」「高校生時の不登校」「大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時の不登校」と回答した人に対し、不登校のきっかけについて尋ねたところ、「学習面」「いじめ」「家庭の問題」「その他」がいずれも 33.3%となっている。



## (7) 外出頻度が少ない状態についての相談希望

外出頻度が少ない状態についての相談希望を尋ねたところ、「思わない」が最も多く 70.3%、次いで「少し思う」10.8%、「思う」8.1%となっている。

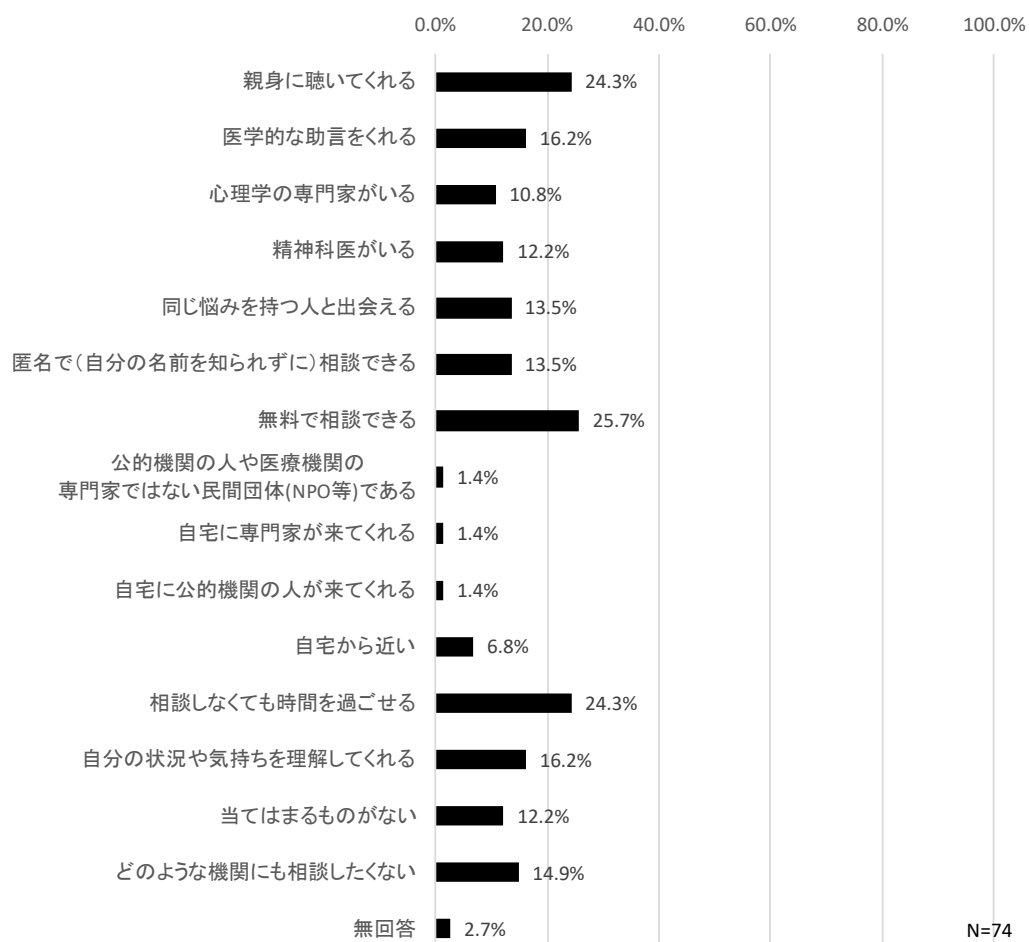
### ■ひきこもりについての相談希望



### (8) 相談機関に求める姿勢等

外出頻度が少ない状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら相談したいかについて尋ねたところ、「無料で相談できる」が最も多く 25.7%、次いで「親身に聴いてくれる」「相談しなくても時間を過ごせる」が共に 24.3%となっている。

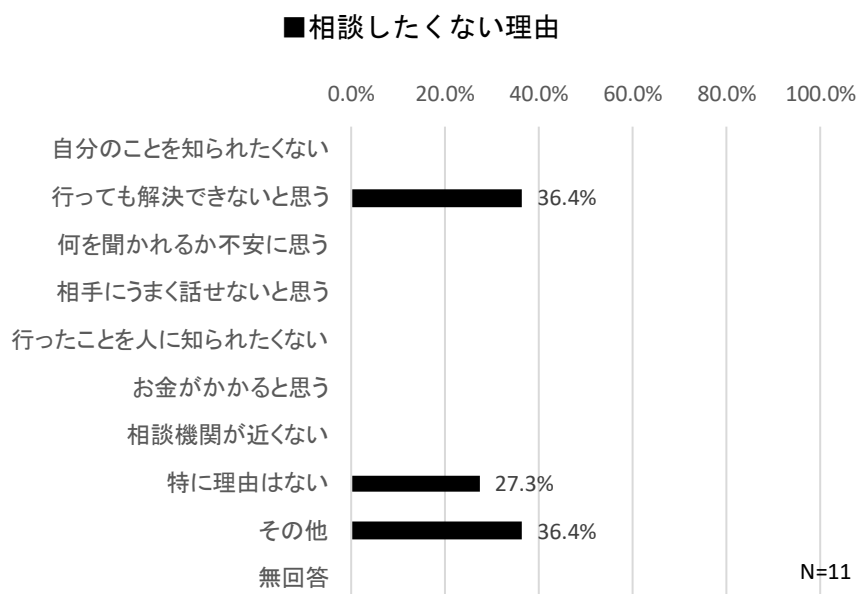
■ 相談機関に求める姿勢等（あてはまるものすべて）



N=74

### (9) 相談したくない理由

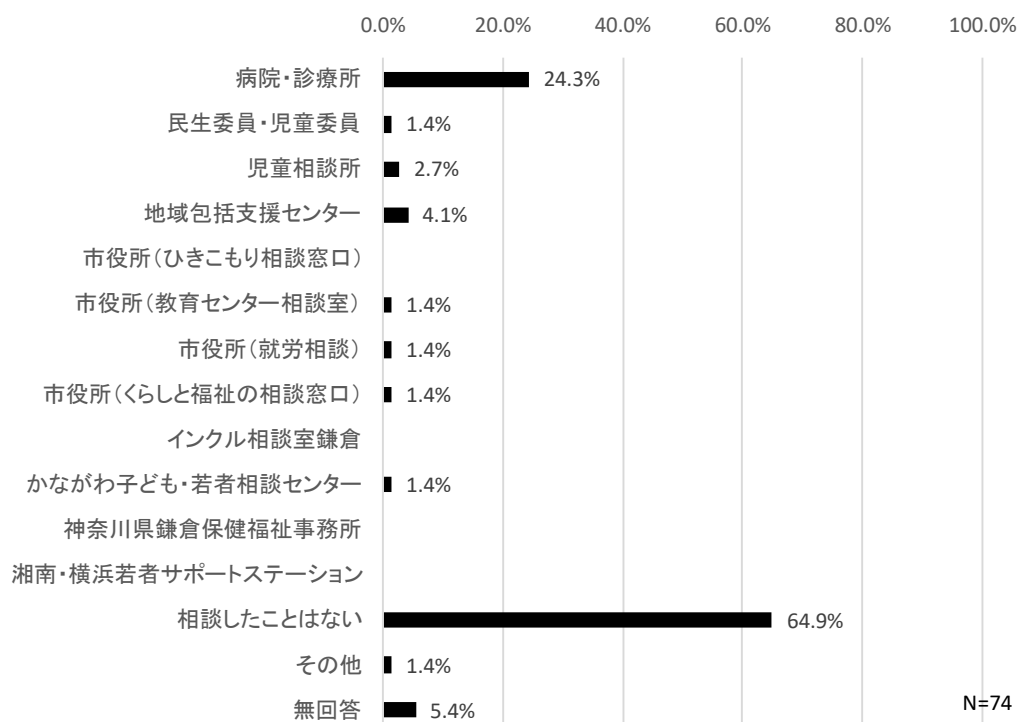
どのような機関なら相談したいかという問いに対し「どのような機関にも相談したくない」と回答した人に理由を尋ねたところ、「行っても解決できないと思う」「その他」が最も多く 36.4%、次いで「特に理由はない」27.3%となっている。



### (10) 外出頻度が少ない状態についての相談状況

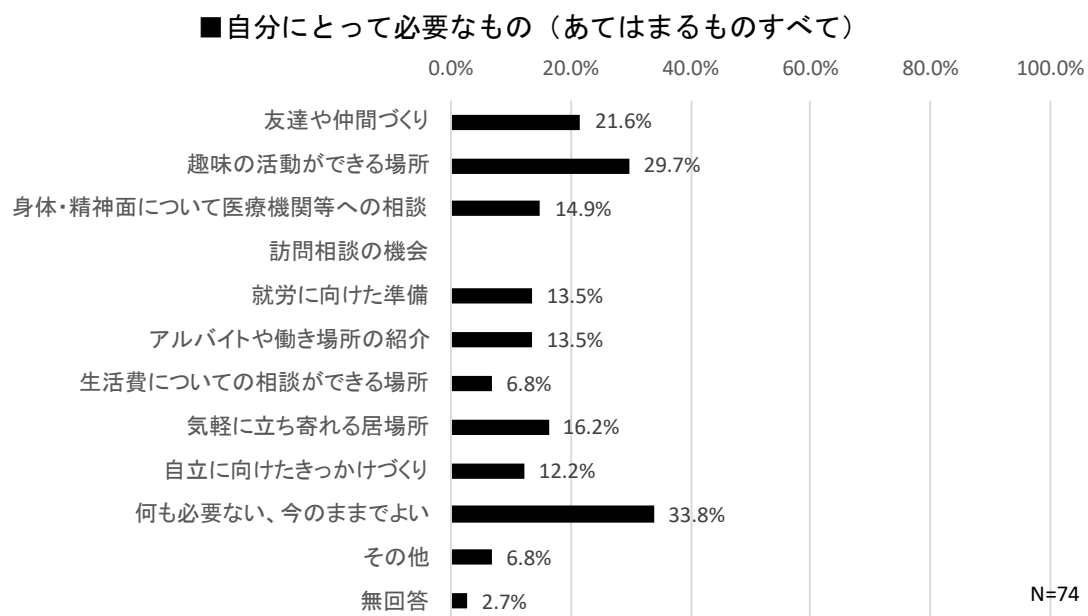
外出頻度が少ない状態について、関係機関に相談したことがあるかについて尋ねたところ、「相談したことはない」が最も多く 64.9%、次いで「病院・診療所」24.3%、「地域包括支援センター」4.1%となっている。

■外出頻度が少ない状態についての相談状況（あてはまるものすべて）



## (12) 自分にとって必要なもの

自分自身にとって必要なものについて尋ねたところ、「何も必要ない、今のままでよい」が最も多く 33.8%、次いで「趣味の活動ができる場所」29.7%、「友達や仲間づくり」21.6%となっている。



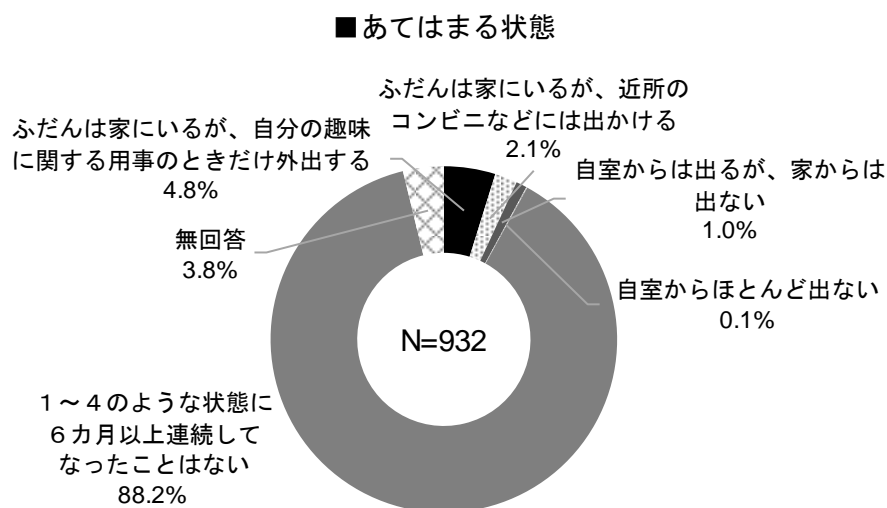


## 5. 外出頻度が一定程度ある人※の状況

※普段の外出頻度で、「仕事や学校で平日は毎日外出する」「仕事や学校で週3～4日外出する」「遊び等で頻繁に外出する」「人付き合いのためにときどき外出する」と回答した人

### (1) あてはまる状態

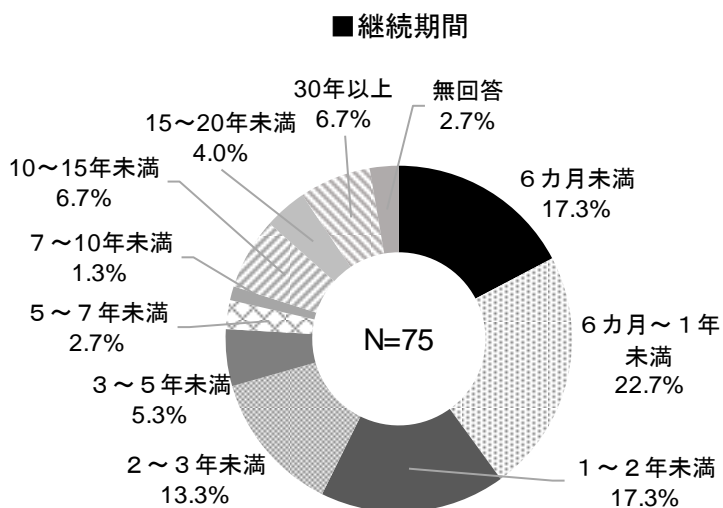
これまでに6か月以上連続して選択肢のような状態になったことがあるかについて尋ねたところ、「(他の選択肢のような)状態に6か月以上連続してなったことはない」が最も多く88.2%、次いで「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」4.8%、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」2.1%となっている。



以下、本設問で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した人に対して、各設問への回答を求めた。

## (2) 継続期間

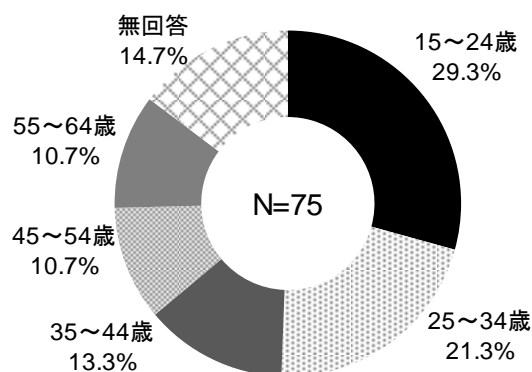
外出頻度が少ない状態の継続期間について尋ねたところ、「6カ月～1年未満」が最も多く22.7%、次いで「6カ月未満」「1～2年未満」が共に17.3%となっている。



## (3) 初めて外出頻度が少ない状態になった年齢

初めて外出頻度が少ない状態になった年齢を尋ねたところ、「15～24歳」が最も多く29.3%、次いで「25～34歳」21.3%、「35～44歳」が13.3%となっている。

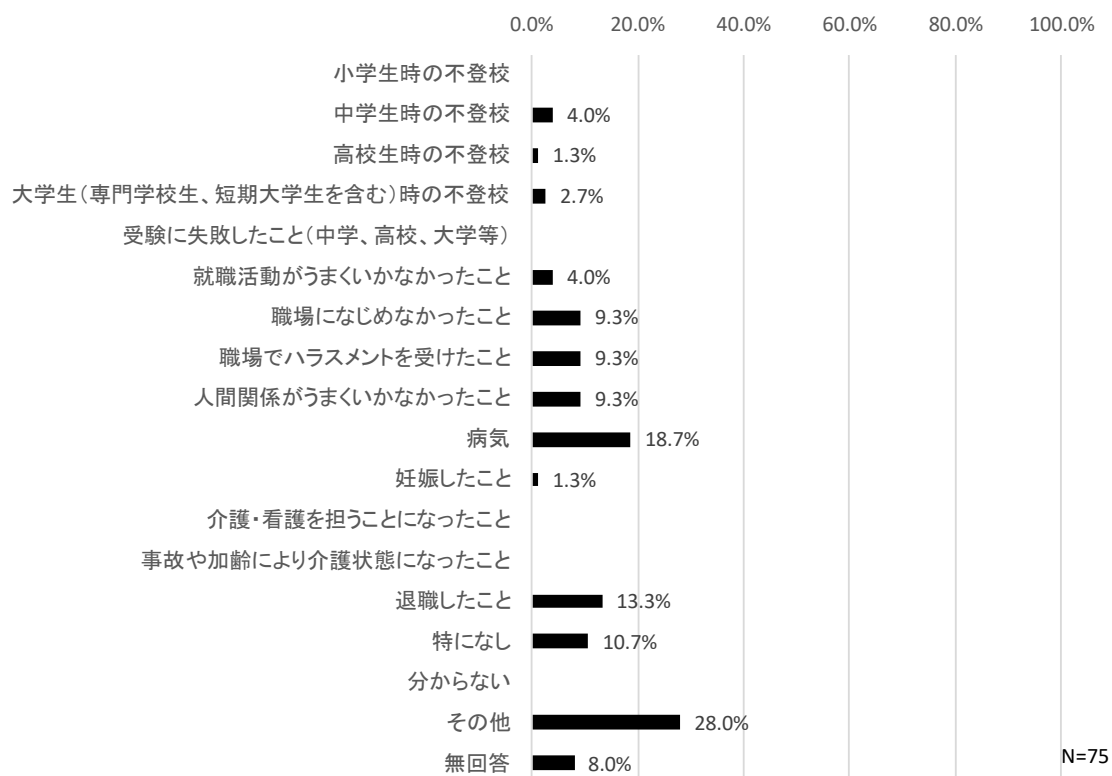
■ 初めて外出頻度が少ない状態になった年齢



#### (4) 外出頻度が少ない状態になったきっかけ

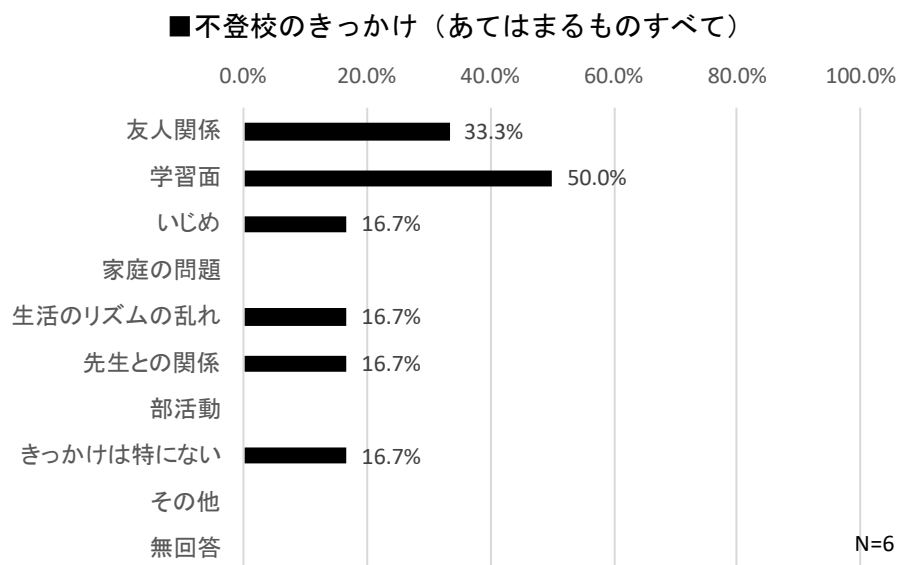
外出頻度が少ない状態になったきっかけについて尋ねたところ、「その他」が最も多く28.0%、次いで「病気」18.7%、「退職したこと」が13.3%となっている。

■ひきこもりになったきっかけ（あてはまるものすべて）



### (5) 不登校のきっかけ

外出頻度が少ない状態になったきっかけで「小学生時の不登校」「中学生時の不登校」「高校生時の不登校」「大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時の不登校」と回答した人に対し、不登校のきっかけについて尋ねたところ、「学習面」が最も多く50.0%、次いで「友人関係」33.3%、「いじめ」「生活のリズムの乱れ」「先生との関係」「きっかけは特にない」がいずれも16.7%となっている。



(6) 外出頻度が少ない状態から抜け出すきっかけや役立ったこと

外出頻度が少ない状態から抜け出すきっかけや役立ったことについて尋ねたところ、「その他」が最も多く 40.0%、次いで「家族が親身に聴いてくれた」28.0%、「医学的な助言があった」が 14.7%となっている。

■ 外出頻度が少ない状態から抜け出すきっかけや役立ったこと（あてはまるものすべて）



### III. ひきこもりの出現率の試算

#### 1. ひきこもりの定義

本調査では、次の定義に基づき「広義のひきこもり」「狭義のひきこもり」「準ひきこもり」を設定し、その出現率を試算した。

広義のひきこもりは、

「問20 あなたはふだんのくらい外出しますか。」について、下記の5～8に当てはまる者

5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

かつ

「問21 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6か月以上と回答した者

であって、次の3類型のいずれにも該当しない者。

<条件①>

「問25 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「病気（病名： ）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者

<条件②>

「問25 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、

- ①「妊娠した」を選択した者、
- ②「介護・看護を担うことになった」を選択した者
- ③「その他（ ）」を選択し、（ ）に出産・育児をしている旨を記入した者

「問12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「専業主婦・主夫」又は「家事手伝い」と回答した者

又は

「問16 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「家事をする」、「育児をする」又は「介護・看護をする」と回答した者

のいずれかで、かつ、

「問23 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。」で、「よく会話をした」又は「ときどき会話をした」を選択した者

<条件③>

「問25 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「その他（）」を選択し、（）に自宅で仕事をしている旨を記入した者

「問12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「勤めている」又は「自営業・自由業」と回答した者

又は

「問16 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「仕事をする」と回答した者

このうち、問20で6、7又は8に該当する者を「狭義のひきこもり」、問20で5に該当する者を「準ひきこもり」とした。

## 2. ひきこもりの出現率の試算

本調査により、「広義のひきこもり」「準ひきこもり」「狭義のひきこもり」の該当数は以下の通りであった。

■ひきこもりの状況

	広義のひきこもり	準ひきこもり	狭義のひきこもり	非該当	無回答
(人)	18	6	12	932	67
(%)	1.8	0.6	1.2	91.6	6.6

これにより、「広義のひきこもり」の出現率は約1.8%と試算された。

広義のひきこもり数÷回答者数=出現率

$$18 \div 1017 = 1.769\%$$



## IV. 使用した調査票

### 市民の生活状況に関する基礎調査

日ごろより鎌倉市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、鎌倉市では「市民の生活状況に関する基礎調査」を実施する運びとなりました。この調査は、鎌倉市にお住まいの皆様のご日常生活の状況についてお伺いし、今後の市政運営の参考とさせていただくことを目的としています。

今回の調査の実施にあたりましては、鎌倉市内にお住まいの満15歳から64歳までの方2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただき、ご回答をお願いしております。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理するため、調査対象者様が特定されることはございません。また、個人情報保護を遵守し、他の目的に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### ご記入に際してのお願い

- 1 この調査は、原則として郵便宛名のご本人様にご回答ください。ご本人様によるご回答が難しい場合は、同居のご家族様をご本人の立場に立ってお答えください。
- 2 ご回答は、選択肢の中から選んで数字に○印をつけていただくか、数字をご記入ください。
- 3 ご回答いただく○印の数は、各設問に「(○はひとつだけ)」、「(○はいくつでも)」などと記載していますので、それに合わせてください。
- 4 設問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。ことわり書きや矢印に沿ってご回答ください。特にことわり書きのない場合は次の設問に進んでください。
- 5 「その他( )」をお答えになった場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 6 回答に迷う場合は、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものをお選びください。
- 7 できるだけすべての質問にお答えいただきたいところですが、回答しにくい質問については未記入でも構いません。

#### ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました本用紙(調査票)は、同封の返信用封筒にて、**2023(令和5)年1月31日(火)まで**にご投かんください(切手は不要です)。

調査の内容や記入の仕方などについて分からないことがございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

#### ●お問い合わせ先

鎌倉市役所 健康福祉部 生活福祉課

担当者：権守・廣瀬

電話番号：0467-61-3958

あなた自身や家族について

問1 この調査票にご記入いただいたのは、どなた様ですか。(〇はひとつだけ)

1	郵便宛名のご本人様が記入した
2	郵便宛名のご本人様の立場に立って、代理の方が記入した
3	その他(具体的に: _____)

問2 あなたの性別をお答えください。(〇はひとつだけ)

1	男性	2	女性	3	その他
---	----	---	----	---	-----

問3 あなたの年齢(2023(令和5)年1月1日時点)をお答えください。

			歳
--	--	--	---

問4 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(〇はひとつだけ)

1	鎌倉地域	十二所、浄明寺1～6丁目、二階堂、西御門1～2丁目、菅ノ下1～5丁目、菅ノ下、扇ガ谷1～4丁目、小町1～3丁目、大町1～7丁目、材木座1～6丁目、由比ガ浜1～4丁目、御成町、笠目町、佐助1～2丁目、長谷1～5丁目、坂ノ下、極楽寺1～4丁目、稲村ガ崎1～5丁目
2	腰越地域	腰越1～5丁目、腰越・津、西鎌倉1～4丁目、七里ガ浜東1～5丁目、津西1～2丁目、七里ガ浜1～2丁目
3	深沢地域	梶原1～5丁目、梶原、寺分1～3丁目、寺分、山崎、上町屋、手広1～6丁目、手広、笛田1～6丁目、笛田、常盤、鎌倉山1～4丁目
4	大船地域	山ノ内、台2～5丁目、台、小袋谷1～2丁目、小袋谷、大船1～6丁目、大船、高野、岩瀬1丁目、岩瀬、今泉1～5丁目、今泉台1～7丁目
5	玉縄地域	台1丁目、岡本1～2丁目、岡本、玉縄1～5丁目、植木、城廻、関谷

問5 現在あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)

1	一人暮らし	5	父	9	兄弟姉妹
2	配偶者	6	母	10	ペット
3	パートナー	7	祖父母	11	その他
4	子ども	8	孫	(具体的に: _____)	

問6 現在同居している人は何人ですか。あなたを含めた人数をお答えください。

			人
--	--	--	---

問7 あなたの家の生計を立てている方はどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、最も多く家計を負担している方をお答えください。また、主に仕送りして生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。  
(○はひとつだけ)

1 あなた自身	6 祖父母	11 生活保護などを受けている
2 配偶者	7 孫	
3 パートナー	8 兄弟姉妹	12 その他
4 子ども	9 その他の家族や親せき	(具体的に： )
5 父母	10 年金などを受けている	

問8 あなたの家の暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、下のどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。  
(○はひとつだけ)

1 上の上	4 中の上	7 下の上
2 上の中	5 中の中	8 下の中
3 上の下	6 中の下	9 下の下

問9 これまでに、病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。通院・入院したことがある病気に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 心臓や血管の病気	4 精神的な病気	7 骨折・大けが
2 肺の病気	5 目・耳の病気	8 その他の病気
3 胃や腸の病気	6 皮膚の病気	9 特になし

問10 あなたは現在学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

1 現在、在学している	3 中退した
2 すでに卒業している	4 休学中である

問11 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在在学している学校はどれですか。  
(○はひとつだけ)

1 中学校	3 専門学校	5 4年制大学・大学院
2 高等学校	4 高等専門学校・短期大学	6 その他

問12 あなたは現在働いていますか。(〇はひとつだけ)

1	正社員として働いている	6	派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
2	契約社員・派遣社員として働いている	7	専業主婦・主夫
3	パート・アルバイト(学生のアルバイトは除く)として働いている	8	家事手伝い
4	自営業・自由業	9	無職
5	学生(予備校生を含む)	10	その他 (具体的に: )

問16へお進みください

問13へお進みください

問12で「6～9」に〇をつけた方のみ、問13～問15にお答えください。

問13 あなたは今までに働いたことはありますか。(〇はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 正社員として働いたことがある                                    |
| 2 | 契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある<br>(学生のアルバイトは除く) |
| 3 | 自営業・自由業をしたことがある                                   |
| 4 | その他の形態で働いたことがある(具体的に: )                           |
| 5 | 今まで働いたことはない                                       |

問14 現在、就職または進学を希望していますか。(〇はひとつだけ)

- |   |      |   |      |   |         |
|---|------|---|------|---|---------|
| 1 | 就職希望 | 2 | 進学希望 | 3 | どちらでもない |
|---|------|---|------|---|---------|

問15 現在、就職活動をしていますか。(〇はひとつだけ)

- |   |      |   |       |
|---|------|---|-------|
| 1 | している | 2 | していない |
|---|------|---|-------|

<ここからはすべての方がお答えください>

あなたの日常生活について

問16 ふだんご自宅にいるときに、あなたがよくしていることをすべてお答えください。  
(〇はいくつでも)

1	テレビを見る	7	勉強をする	13	SNSをする
2	ラジオを聴く	8	仕事をする	14	メール・LINEをする
3	新聞を読む	9	家事をする	15	その他
4	本(マンガを除く)を読む	10	育児をする	(具体的に: )	
5	マンガを読む	11	介護・看護をする		
6	ゲームをする	12	インターネットをする		

問17 あなたが日常生活で不安に思っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1 収入・生活費	9 親子関係	17 恋愛・結婚
2 自分の健康	10 友人・知人関係	18 住居・生活環境
3 家族の健康	11 会社の人間関係	19 時間的なゆとり
4 家族等の介護・看護	12 学校との関係	20 自然災害
5 就職・仕事	13 夫婦関係	21 世の中全般
6 勉強・受験	14 子育て	22 特になし
7 生きがい	15 将来	23 犯罪
8 家族(親子除く)との関係	16 自分の能力や才能	24 その他
(具体的に: )		

問18 あなたは日常の心配ごとや悩みごとの相談を誰にしますか。(〇はいくつでも)

1 配偶者	7 孫	13 近所の人
2 パートナー	8 兄弟姉妹	14 市役所
3 子ども	9 親せき	15 民生委員・児童委員
4 父	10 友人・知人	16 特になし
5 母	11 学校の先生	17 その他
6 祖父母	12 職場の人	(具体的に: )

問19 ご近所の方との付き合いの状況について、あなたに近いものをお答えください。  
(〇はひとつだけ)

1 日ごろから互いの家を訪問し合い、なんでも話せる人がいる
2 日ごろから互いの家を訪問し合うほどではないが、困ったときには相談できる人がいる
3 あいさつを交わす程度
4 付き合いはない

質問は次のページに続きます。

問20 あなたはふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

1	仕事や学校で平日は毎日外出する	5	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
2	仕事や学校で週3～4日外出する	6	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3	遊び等で頻繁に外出する	7	自室からは出るが、家からは出ない
4	人付き合いのためにときどき外出する	8	自室からほとんど出ない

↓

10ページ

問21にお進みください

問20で「5～8」に○をつけた方のみ、問21～問31にお答えください。

問21 あなたが現在の状態になってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

1	6カ月未満	5	3年～5年未満	9	15～20年未満
2	6カ月～1年未満	6	5～7年未満	10	20～25年未満
3	1年～2年未満	7	7～10年未満	11	25～30年未満
4	2年～3年未満	8	10～15年未満	12	30年以上

問22 あなたがはじめて現在の状況になったのは、あなたが何歳のころですか。

歳

問23 あなたは最近6カ月間に家族と会話をしましたか。(○はひとつだけ)

1	よく会話をした	3	ほとんど会話しなかった
2	ときどき会話をした	4	まったく会話しなかった

問24 あなたは最近6カ月間に家族以外の人と会話をしましたか。(○はひとつだけ)

1	よく会話をした	3	ほとんど会話しなかった
2	ときどき会話をした	4	まったく会話しなかった

質問は続きます。  
次ページ(7ページ)問25にお進みください。

問25 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1	小学生時の不登校	5	受験に失敗したこと(中学、高校、大学等)
2	中学生時の不登校	6	就職活動がうまくいかなかったこと
3	高校生時の不登校	7	職場になじめなかったこと
4	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時の不登校	8	職場でハラスメントを受けたこと
		9	人間関係がうまくいかなかったこと
		10	病気(病名: )
		11	妊娠したこと
		12	介護・看護を担うことになったこと
		13	事故や加齢により介護状態になったこと
		14	退職したこと
		15	特になし
		16	分からない
		17	その他(具体的に: )

問26にお進みください

問27にお進みください

問25で「1～4」に〇をつけた方のみ、問26にお答えください。

問26 不登校になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1	友人関係	4	家庭の問題	7	部活動
2	学習面	5	生活のリズムの乱れ	8	きっかけは特になし
3	いじめ	6	先生との関係	9	その他
					(具体的に: )

問25に回答した方全員がお答えください。

問27 あなたは現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(〇はひとつだけ)

1	非常に思う	2	思う	3	少し思う	4	思わない
---	-------	---	----	---	------	---	------

質問は次のページに続きます。

問28 あなたは現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1 親身に聴いてくれる	9 自宅に専門家が来てくれる
2 医学的な助言をくれる	10 自宅に公的機関の人が来てくれる
3 心理学の専門家がいる	11 自宅から近い
4 精神科医がいる	12 相談しなくても時間を過ごせる
5 同じ悩みを持つ人と出会える	13 自分の状況や気持ちを理解してくれる
6 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる	14 当てはまるものがない
7 無料で相談できる	15 どのような機関にも相談したくない
8 公的機関の人や医療機関の専門家ではない民間団体(NPO等)である	

問30にお進みください

問29にお進みください

問28で「15」に〇をつけた方のみお答えください。

問29 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 自分のことを知られたくない	6 お金がかかると思う
2 行っても解決できないと思う	7 相談機関が遠くない
3 何を聞かれるか不安に思う	8 特に理由はない
4 相手にうまく話せないと思う	9 その他
5 行ったことを人に知られたくない	(具体的に: )

問28に回答した方全員がお答えください。

問30 あなたは現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(〇はいくつでも)

1 病院・診療所	8 市役所(くらしと福祉の相談窓口)
2 民生委員・児童委員	9 インクル相談室鎌倉
3 児童相談所	10 かながわ子ども・若者相談センター
4 地域包括支援センター	11 神奈川県鎌倉保健福祉事務所
5 市役所(ひきこもり相談窓口)	12 湘南・横浜若者サポートステーション
6 市役所(教育センター相談室)	13 相談したことはない
7 市役所(就労相談)	14 その他(具体的に: )



問31 あなたが自分自身にとって必要と考えるものはありますか。(〇はいくつでも)

1	友達や仲間づくり	7	生活費についての相談ができる場所
2	趣味の活動ができる場所	8	気軽に立ち寄れる居場所
3	身体・精神面について医療機関等への相談	9	自立に向けたきっかけづくり
4	訪問相談の機会	10	何も必要ない、今のままでよい
5	就労に向けた準備	11	その他
6	アルバイトや働き場所の紹介		(具体的に： )

問20で「5～8」に〇をつけた方皆様へ

質問は以上となります。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本用紙(調査票)は、同封の返信用封筒にて、  
2023(令和5)年1月31日(火)までにご投かんください(切手は不要です)。

問20で「1～4」に○をつけた方全員がお答えください。

問32 あなたは今までに6カ月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。  
複数ある場合は、最も長い期間の場合についてお答えください。(○はひとつだけ)

1	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
2	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3	自室からは出るが、家からは出ない
4	自室からほとんど出ない
5	1～4のような状態に6カ月以上連続してなったことはない

質問は以上となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

本用紙(調査票)は、同封の返信用封筒にて、  
2023(令和5)年1月31日(火)までにご投かんください(切手は不要です)。

問33にお進みください

問32で「1～4」に○をつけた方のみお答えください。

問33 その状態はどのくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

1	6カ月未満	5	3年～5年未満	9	15～20年未満
2	6カ月～1年未満	6	5～7年未満	10	20～25年未満
3	1年～2年未満	7	7～10年未満	11	25～30年未満
4	2年～3年未満	8	10～15年未満	12	30年以上

問34 あなたがその状況になったのは、あなたが何歳のころですか。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳
----------------------	----------------------	---

質問は続きます。  
次ページ(11ページ)問35にお進みください。

問35 あなたがその状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1	小学生時の不登校	5	受験に失敗したこと(中学、高校、大学等)
2	中学生時の不登校	6	就職活動がうまくいかなかったこと
3	高校生時の不登校	7	職場になじめなかったこと
4	大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時の不登校	8	職場でハラスメントを受けたこと
		9	人間関係がうまくいかなかったこと
		10	病気(病名: )
		11	妊娠したこと
		12	介護・看護を担うことになったこと
		13	事故や加齢により介護状態になったこと
		14	退職したこと
		15	特になし
		16	分からない
		17	その他(具体的に: )

問36にお進みください

問37にお進みください

問35で「1～4」に〇をつけた方のみ、問36にお答えください。

問36 不登校になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1	友人関係	4	家庭の問題	7	部活動
2	学習面	5	生活のリズムの乱れ	8	きっかけは特になし
3	いじめ	6	先生との関係	9	その他
					(具体的に: )

問35に回答した方全員がお答えください。

問37 その状態から、現在の状態に変わったきっかけや役立ったことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1	家族が親身に聴いてくれた	12	公的機関や医療機関の専門家ではない民間団体(NPO)からの支援があった
2	友人が親身に聴いてくれた	13	自宅に専門家が来てくれた
3	近所の方が親身に聴いてくれた	14	自宅に公的機関の人が来てくれた
4	学校の先生が親身に聴いてくれた	15	自宅から相談・支援機関が近かった
5	職場の上司や同僚が親身に聴いてくれた	16	相談しなくても時間を過ごせる場があった
6	医学的な助言があった	17	きっかけになった相手が自分の状況や気持ちを理解してくれた
7	心理学の専門家による助言があった	18	その他
8	同じ悩みを持つ人と出会えた		(具体的に: )
9	匿名(自分の名前を知られずに)相談できた		
10	無料で相談できた		
11	公的機関の人からの支援があった		

質問は以上となります。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。  
本用紙（調査票）は、同封の返信用封筒にて、  
2023（令和5）年1月31日（火）までにご投かんください（切手は不要です）。